

Stage Artist

Piano：西岡 幹洋

宮崎市出身。宮崎大学教育学部特音課程作曲専攻卒業後、渡米。帰国後、東アジア国際現代音楽祭、福岡県上陽音楽祭、宮崎県新人演奏会などに出演。また、映像音楽や、CM音楽、Web音楽の製作も手掛ける。

日本クラシック音楽コンクール入選、宮日音楽コンクール作曲部門 優秀賞、宮崎県音楽協会ピアノコンクール最優秀賞、他多数入賞。

ピアノを米良奈甫子、葛西寛俊、リチャード・ラトリフ、ニコラ・モッタランの各氏に師事。作曲と和声学を斉藤武、クリス・ルトコフスキー、ドン・フロインドの各氏に師事。木城町在住。



Violin：鈴木 祥子

東京芸術大学附属音楽高校を経て、東京芸術大学器楽科卒業。掛谷洋三、矢嶋佳子、岡山潔の各氏に師事。ドイツ・シュポアアカデミーに参加し、ヴォルフガング・マルシュネル、オレグ・クレサの両氏に指導を受ける。高校在学中から、室内楽グループ「アンサンブル・ミュゲ」のメンバーとして活躍し、毎年津田ホールでの定期演奏会に出演の他、各地で演奏会に数多く出演している。杉並演奏家シリーズでは3度にわたって出演。ソロリサイタルの他、オーケストラとの共演、室内楽奏者としても幅広く活躍している。



Cello：鈴木 龍一

12歳より義兄八十嶋龍三氏にチェロの手ほどきを受ける。氏渡独後、寺井つねひろ、菊地俊一、故清水勝雄の各氏に師事。東京芸術大学入学。故堀江泰、三木敬之の各氏に師事。卒業後、堀了介、毛利伯郎各氏の指導を受ける。

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に入団、現在籍。「ワーグナーオーケストラ・オペラ」等、年間100回の公演に出演。「アフィニス夏の音楽祭」参加。「チューリヒ国際マスタークラス」ではエベルハルト・フィンケ氏に指導を受ける。大倉山記念館にてリサイタルを開催。アンサンブル・ミュゲのメンバーとして、毎年コンサートを行う。東京音楽大学付属高校非常勤講師も勤める。

第81回アカデミー賞最優秀外国語映画賞を受賞した、「おくりびと」のサウンドトラック収録に、日本を代表する12人のチェロ奏者と共に参加し話題になった。東京都在住。

